

## 令和6年度第1回鶴岡市景観審議会（会議録）

- 日 時  
令和7年3月19日（水）午後1時30分から午後3時
- 会 場  
庄内産業振興センター マリカ市民ホール
- 出席委員  
佐藤滋委員、野堀嘉裕委員（会長）、高谷時彦委員、庄司愛恵委員、秋野公子委員、笠原俊一委員、土田一彦委員、さとうれいこ委員、本間聡美委員、阿部廣弥委員、佐藤亨委員（代理：佐久間一徳氏）
- 欠席委員  
渡邊元嗣委員
- 市側出席職員（事務局）  
建設部長、都市計画課長、都市計画課主幹、都市計画課都市計画係 係長、都市計画専門員、専門員、主事
- 公開・非公開  
公開
- 傍聴者の人数  
0名
- 次 第
  1. 開会
  2. 挨拶
  3. 定数報告
  4. 会長・副会長の選出
  5. 説明事項  
(1) 第3期鶴岡市中心市街地活性化基本計画の内容等について
  6. その他
  7. 閉会
- 内 容
  1. 開会（進行：事務局 都市計画課長）
  2. 挨拶（挨拶：建設部長）
  3. 定数報告（事務局 都市計画課長） 委員紹介、出席者数の報告、会の成立宣言
  4. 会長・副会長の選出  
委員の互選により、野堀嘉裕委員を会長に、秋野公子委員を副会長に選出。
  5. 説明事項（議長：野堀会長）

(1) 第3期鶴岡市中心市街地活性化基本計画の内容等について

会長

本日の会議は、午後3時頃の終了をめどに進める。協議内容は第3期中心市街地活性化基本計画。これは諮問事項ではないため、審議会としてのまとめは行わないが、委員の皆様から1人ずつご意見をいただきたい。それでは早速第3期中心市街地活性化基本計画について、まずは審議会資料より一括して事務局から説明をお願いします。

(説明：都市計画課都市計画専門員)

会長

事前配布の資料と比べると、若干内容が違っているところがあるので、その辺に注意しながら見ていただき、ぜひご質問・ご意見をいただきたい。

委員

盛りだくさんな内容の説明だった。商工観光関係の内容も多いが、この内容は市役所の中の商工観光関連の方々とは当然共有しているということによろしいか。

事務局

中心市街地活性化の事業は商工課と都市計画課が事務局となっており、計画は商工会議所も入って3つの部署が主となって策定している。観光の分野であれば観光物産課やDEGAM、移動であれば地域振興課やバス事業者の意見を聞きながら、市が全市的に取り組むもの。

委員

都市計画や建設部以外の内容がかなりあるので、ぜひ共有していただければ、一丸となって取り組めると思う。

委員

非常にまとめられた資料だと感じた。資料2の9ページ、事業一覧には、36事業と幅広く掲載されている。中心となっているのは鶴岡公園や銀座通り周辺だが、鶴岡全体を見ると、駅前には飲食店が増えてきており、空き店舗が出てもすぐ埋まり、ホテルも多いがほぼ満室状態と、スイデンテラスを含めて、インバウンド・出張者などが駅前に集まっている状況にある。そうした中で残念なのがマリカの利用やマリカ広場、FOOEVER。せっかく理想を掲げてできた施設が置いてきぼりにされているような印象がある。そんな中で皆さんご存知の通り、駅前には今後東横インやアパホテルももう一棟の着工が予定され、合わせて450室ほどになると聞いている。また、米倉庫があった4,500坪ほどの空き地はこれから開発が始まる。先日所有者さんにお聞きしたところ、様々な事業提案があり、これから整理して何店舗かに集約しながら誘致するところを決めていくとのことだった。あれだけ広い土地なので、市の関係者もヒアリングしているものと思うが、長い目で見ても、駅前は大事にしていくべきエリア。民間もこれだけ頑張っている中で、これから将来性もあると思われ、それをふまえてもう少し計画に入ってきてもいいのではないかと感じた。

もう1つは、去年の審議会でもお話をもらったが、鶴岡は城下町ということで、道路が入り組んで狭いところが非常に多い。そうしたところに入ってしまうと、車同士でにらめっこになり、火事や急病で緊急車両が入ってきた時どうなのかなと思いつつも通っている。空き家・空き地も増えてきている中で、車中心の社会なので、全体的に車や緊急車両が通りや

すいようなまちづくりを進めていかなければならないと思う。視点がずれたかもしれないが、意見として話させてもらった。

## 委員

景観審議会と中心市街地活性化の関係を考えると、景観を守り育てることはこの審議会の役割。一方で中心市街地の活性化を進める時に、景観との関係・バランスをどう取るかはとても大事なこと。例えば、荘内銀行本店の建て替えのプロジェクトが出てきた際は景観審議会でも激しい議論があった。内川・三日町の通りに長いファサードがあるが、内川に面して大きなファサードが計画されていて、それではスケールオーバーなので何とかしてほしいという意見が審議会の中でも多かった。当初、荘内銀行も設計をしていた事務所も、それは難しいと言っていたが、いろんな経緯があって今のような形になった。第3期中心市街地活性化基本計画でもみゆき通りが東西の活性化の軸になっていて、そこに面して今のような荘内銀行とギャラリーができたのはとても良かったと思う。規制することからいいものに転換した、模範的な例ではないか。

鶴岡には、ここにいらっしゃる建築家の方が中心になって動かしてくださっているコミュニティアーキテクトという制度がある。これは今のところ、絶対高さ制限を突破する特例を認める時にコミュニティアーキテクトのデザインレビューをするもの。デザインレビューをして、より良い形にして絶対高さ制限の特例を認めるといういい制度だと思うが、外からは、そこに行くと言われたいことを言われるのではないかと、という誤解が拭い切れないよう。デザインレビューはイギリスで始まったものだが、イギリスはデザインのガイドラインが非常に厳しく、歴史的な建築と合わせなければならないという決まりがある。綿密なガイドラインが1冊のブックになっており事例もたくさん出ているため、開発業者はそれと同じもの、書いてある通りのことを行ってしまいがちで、つまらないものばかりができてしまう。そうならないよう、もう少し創造的なものや刺激的なものもOKにしようということで、例えば今できているタクトなどがまさにそういうものだと思うが、ああいうものを作ろうとすると、歴史的なまちなみの中に変なもの・見たことがないものができると言って、みんな反対する。そういう時に、これは価値があっていいものだというのを拾い上げたり推奨したりするのがイギリスのデザインレビューだが、日本の場合はあまりにも周りがひどいので、規制色が強くなってしまいう傾向がある。

しかし現在のなかなかものが動かない時代にインセンティブを与えていくような、デザインレビューにかけると何か得をする、アイデアをもらえるなど、みんなが進んでデザインレビューを受けるような形になると良いと思う。15年ほど前、東日本大震災が起こる前に建築関連学協会と国交省で詰めた議論を行っていたが、実現する直前で震災・原発事故があり、すっ飛んでしまった。鶴岡でそれを行っているのは、唯一と言ってもいいくらいではないか。いろんな形でデザインレビューは行われていると思うが、これをどういう形で発信するかだと思う。

NHK跡地にレーベンができた。3月下旬に入居が始まり、127戸中100戸以上売れたと聞いている。鶴岡のマンションで4,000万、4,500万というと相当な高価格帯だと思うが、鶴岡の都心に住みたいとお金をかけて買う購入層がおり、100戸売れたというのは意外だった。ディベロッパはきちんと市場調査をして、隠れた需要を顕在化した。20戸ぐらい残っているが、100戸売ったのはすごいと思う。ただ、事業者側はもっといいものができたのではないかと考えているよう。ただ単に15mの規制があるということで終わるのではなく、あれだけの敷地なので、例えばデザインレビューにかけた時にいろいろなアイデアが盛られて、いろんなことができたのではないかという思いがある。住居系は特例が認められない取り扱いになっているが、せっかく作った制度なので様々なところに応用し、一緒に考えることで、よりいいものを

作ることができるのではないか。ただ、デザインレビューに行く時間がかかってしょうがないとか、景観審議会にかかったらまた1年もかかってしまうと思われるようではダメで、スピード感が大事。事業者は投資したものに対する回収のスピードを重要視する。トップモデルのようなものならどんどんやって創造的ないいものを作っていき、それによって市民も行政も事業所も統合し、いいものになっているというようなことを、中心市街地活性化事業の取り組みと一緒にやってほしい。資料2の1ページ目、公民共創のまちづくりに関し事業者を募集したところ、小さい事業者でも若い人たちがリノベーションしたりということにたくさん集まっていると聞いた。そういう人たちにもいろいろな形で支援していくと、中心市街地の活性化がより進むのではないかと思う。

デザインレビューは今のところボランティアで行っているが、きちんとした体制を作って、市として総がかりでプロジェクトをモデル的に行っていくと、良いものは次々に生まれてくるのではないか。絵に描いた餅にしないためには、そういうことが必要だと思う。

### 事務局

コミュニティアーキテクトのご紹介と、デザインレビューに関してもご説明いただいた。高度地区の特例ということで、特例を認めたり審査したりする段階でデザインレビューを行い、景観審議会を行い、都市計画審議会を行って特例の許可をするのは、まさに面倒くさく、それが活性化の足かせになってしまうのではないかという声は当然あるところ。この計画の中で位置付けている公民共創の中でも、民間投資をどうやって生み出していか、どうやって一緒にやっていくかに関し、公共でどのような支援や役割を担えるのかも重要だと思っている。デザインレビューの制度についても、制度を作って、特例の内容について、都市計画決定を変更し、お示ししているが、まだ事例が発生していない段階であり、その原因についても、民間事業者によく伝わっていないからなのか、本当に面倒くさくて最初から相談にも来ないような状況なのか、その辺も含めて、この中活の中でも、高度地区の規制の検証事業は十分調査しながら進めていきたい。

### 委員

面倒くさいということよりも、そこに行く手前で来た時に受けとめる場所がないのではないか。だから政治的に動いてしまっているし、それだと裏口みたいなことになってしまう。そうではなく、最初からオープンに受けとめるような形を作るのが大事だと思う。

### 委員

1点目として、委員のお話でも思ったが、駅前には35mまで建てられるので今特例にしないで良いが、先ほど委員がおっしゃったようにいろんな事業計画があるとすると、そうしたのも景観的にどうなのかというところを、今は制度がないが、何らかの形で相談できればいいのかなと思った。

2点目として、今日説明いただいた資料2の2ページ右上の方にましま家具跡地も入っているが、ここが何なのか、何か動いているのか、分からなかった。それに関して、私のビジョンの作り方についての意見も手短かに言わせていただきたい。市民に共有意識を持ってもらうためにビジョンを作ったと説明されていたが、市民に共有意識を持ってもらうとは、市民に今までのやり方ではダメだとか、自分もこうやれば参加できるとか、そういう風に思ってもらうことだと思う。そうすれば具体的な議論ができるようになる。ビジョンは策定済みだが、もう少し具体的にやれたらと思った。例えばましま家具跡地の辺りに関しても、空き地があるのは分かっていたので、それをどうすればいいのか、近くにまちなかキネマや社協という福祉関係の中心

もあるので、ビジョンとしてああいう場所はこうあるべきだとか、こんなのはどうみたいなの  
が、少し具体的に議論できるようなグランドデザインがあればいいのかなという気もした。

あるいは今日いただいた横長の資料で5ページ目に Dada 広場の屋根の問題などが書いてある  
が、向かいには旧小池薬局のエビスヤ本店や庄内文化センターもあるといったつながりの中  
で、あの場所はこうあって欲しいというビジョンが、もう少し具体的に中心市街地将来ビジョ  
ンの中で議論できたら良いのではないかという気はする。というのは、これからのまちづくり  
や都市計画というのは、今までのように全体を眺めてゾーニングしてここはこうあるべきだど  
かの将来像を示すだけでなく、プロジェクトを育てていくことが行政やプランニングをする  
人の役割になってくると思うので、そういうものを育てていくようなビジョンの作り方ができ  
ると良い。そこにビジョンがあれば、例えばましま家具の跡地が出てきたら、ここはこういう  
地区だからこういう可能性があるといった議論がすぐできるとか、そんな風にと言うと難しい  
のかもしれないが、そんな気がした。

#### 委員

私自身は、旅館でお客様や観光客の方とお話している時に、鶴岡はどのように見られている  
かということもよく耳にするが、駅前や駅の周辺が何か寂しいというのはよく言われてしまう  
ことで、ではなぜそうなっているのかということを考える必要があると思う。駅から出た時の  
鶴岡の顔、第一印象で鶴岡のイメージが付くと思う。海外の方も庄内空港も使うし鉄道で鶴岡  
駅に来られる方もすごく多くて、そこが寂しいと思われてしまうのは問題だと思う。観光客が  
鶴岡市内を回った時に良いまちだと言ってくれることが多いし、鶴岡は静かで落ち着いて観光  
ができるというイメージはとてもあるので、まちなかで集約されている観光地とお店を今後ど  
うやって発展させていけるか。まちなかを活性化する様々な事業が予定されており、発展して  
いってほしいと思うし、まちなかを若者がビジネスができると感じられる場にというのも掲げ  
られているが、鶴岡に住んでいる若者たちがこの地域をどう思っているのか、各世代でコミュ  
ニケーションして一緒に作っていきけるシステムを作った方がいいと思う。鶴岡以外の地域でも  
空き家がどんどん改修されて地域が賑わっているという事例がたくさんあるが、リノベーション  
してお店が入った時に長く続けられる秘訣はどういうところにあるのか、そういう人の話を  
聞いて、では鶴岡はどういう方向に進んで行くかということも、もう少し時間をかけて、いろ  
んな人の意見を聞いて進めていくべき。SNS での情報発信は必須。良いことが行われていても、  
周りに発信されなければ行っていないのと同じ。どうやって情報発信していくか、ターゲット  
を市民・日本全国・世界中の人たち、誰に設定して発信していくのかで違ってくるので、予算  
を取って、誰に任せて情報発信していくのか、確立していければ良いのではないかと思った。

#### 委員

先ほどのましま家具跡地が黄色になっているのは、何か理由があるのか。

#### 事務局

長らく空き店舗ということで建物が残っていたが、地権者が解体・更地化し、山王商店街の  
方で広場活用の社会実験的なことも行っていたところ。鶴岡 Dada と同じで広い空間があるとい  
う意味での記載。

#### 委員

前回の会議録の自分の発言を見ると、資料を読んだ時言葉がスーッと入ってきて・・・という書  
き出しになっていて、今回もよくまとまっていて、みんなで共有したいという思いを強く持っ

た。資料1の5項目から、こういうポイントをみんなで考えてという共通認識ができたらいいなと思った。自分も市民の1人として、その理想を叶えるための方法を考えていきたいと思うが、日頃の生活の景観から言うと、鶴岡は住んでいて良いところだと思うことが多々あって、月山や鳥海山がきれいな日は何度見ても必ずきれいだと思う。今自分たちができることは何だろうと考えると、例えば増えつつある空き家に対し、その隣の人が何とかできるわけではないし、そのままにせざるをえないところもあるにしても、それについて、景観として考える会というか、井戸端会議のような、お茶のみ話としてできるところがあればと思った。空き店舗のシャッター街もずっとシャッター街が続くと誰が見ても廃墟感があるが、それを廃墟感ではないたずまいにする工夫はないかということを考えなければいけない。やらないといけないことはたくさんあるが、どれも諦めるわけにはいかない。資料でこういう風に向かっていくのを見たら、例えばシャッター研究会など、自分たちの力で考えられるものを作っていかなければと思った。最近銀座通りでイベントが行われているのを見ると、昔とは違って1日と思うと寂しいが、ワクワクしたりもする。森茂八商店の前を通ると、あの通りにすごく貢献しているなど感動したりする。とにかく一歩ずつ、理想を一歩ずつ叶えられるものを、自分たちで小さな会を作って意見を出し合う場を作ったり、私は建築士会に近いのでまちづくり委員会で話してみたり、努力していかなければと思った。

#### 委員

資料2の2ページの区画からは外れるが睦町に住んでおり、銀座通り商店街に近い。たくさん星印が付いている観光の主要施設・歴史的建造物について、あるのは分かるがいつも見慣れた風景で、なかなかありがたみを感じないところがある。

中心市街地は高校生ぐらいまでは自転車で通ったり歩いたりしたが、大人になって車に乗ってしまうと、そこを車で通るだけになってしまう。歩いたりしようとも思わないところがあったが、他の地域に行くと、福島県の喜多方辺りはラーメンを食べに来た人がその辺をウロウロ歩いている。正直、鶴岡市であのくらい人が歩いているのは想像が付かない。喜多方は蔵のまちだとか、ラーメンを売りにしていて、ガイドブックにはラーメンは2杯以上食べてください、はしごが普通と書いてある。それを求めてあっちに行ったりこっちに行ったりということが起こる。鶴岡市は食文化創造都市と言っているのだから、ある程度テーマを決めたものを銀座通りや中心市街地で食べ歩きできるような環境があれば良いのではないかな。市内にラーメンと言わずともこれというもの、毎日でも行きたいというものがあれば、おのずと他の地域からも鶴岡を訪れる人が増えるだろうし、ぜひ、そうした全国に誇れるものがほしい。

委員から、最近駅前の方で飲食店が増えているという話があったが、私もそう感じていた。駅方面の店での会が増えている。その際に困るのが、どうやって帰るか。今、タクシーは捕まらないことが多く、歩いて帰ることもある。バスに乗ろうとしたが、最終が7時と使いづらい。乗る人が少ないからこういう結果になったのだろうし、経営的な判断もあるが、9時くらいまで運行してくれれば。賑わいを創出するに当たって、他の地域から人がたくさん来るような企画が必要だし、現在行っている道路整備も50年後、100年後には歴史的な文化財になり得るものだと思うので、鶴岡市をはじめ各行政からも惜しみなく実施していただきたい。

#### 委員

「できる うみだす あなたのまちなか」の中でたくさんのありたいまちの将来の姿を拝見し、とても良い風潮だなと思った。今こういったワークショップを開催すると、若い人や世代を超えて話し合う中で、アイデアがすごく出てきていると感じていて、それは個の力が強くなっているのもあるかと思う。こういった風潮は長く続けていってほしいが、アイデアは飽

和状態になってしまうとあれもこれもという形になってしまうことがある。鶴岡ならではのところでもう少し精査していく必要性もあると思う。例えば賑わいや観光の面だと、食文化や酒井家に関することが記載されていて、鶴岡らしさということが感じられるが、他の部分は他の地方都市と同じような課題をどうするかということに時間を費やしているような気がした。ここからさらに鶴岡ならではのところを強調していくと、他の地方都市より頭をぐんと抜いて目立つ存在になって行くのではないか。持続可能がキーワードになっていくと思うので、たくさんある中からというよりは、もう少し絞ってやっていくべきことを精査していくと、よりすてきな形になっていくと思う。

#### 委員

今さらだが最初に思ったのが、「できる うみだす あなたのまちなか」というキャッチフレーズについて、「あなたの」という二人称ではなく「わたしの」とすると、市民も自分のという気持ちになるのではないか。また、確かにこのプランは素晴らしいが、どれか1つ成功例を作らないと、あっちもこっちもああしましうこうしましうと言うばかりで、進むのが遅くなるように思う。例えばここ、駅前・まちの顔のあり方については、観光客だけではなく、市民の中でも「あそこがああではの」というのはよくある会話であり、一番感じていること。ここを成功例として、市民が関わってこういうことができるという成功例をきっちり作って見せた方が、早く動いていくのではないかと思った。

#### 委員

個人的な話になるが話を聞きながら、中学生時代に休みになると「町さ行く」と言って、ワクワクしながら銀座通りの今はない山口屋という若者が集まる建物に自転車をこいで向かったことを思い出した。あの頃銀座通りはお店もあって人も歩いていたが、今はかなり変わった。あれから40年が経ち、私たちの生活様式や価値観が変わり、道路が整備されてあちこちに行けるようになったり、インターネットも普及したりとインフラも変わった中で、まちづくりや景観というものは、そうした人の気持ちや生活に伴っても変わってくるのではないかというところを日々行政マンとしても思っているし、今日お話を聞く中で改めて感じた。

そういったところも考慮しいろいろなテーマが盛り込まれている計画で、15年後どうなるかも正直分からないところもありながらの取り組みになろうかとは思いますが、みんなで見出そうというテーマになっており、私自身行政マンとしても市民としても期待を寄せるものになっているので、市民が盛り上がるような作り方や進め方も当然考えていると思うが、そういったところも巻き込んでいくことが必要だと思った。

#### 会長

一通り皆さんにご意見をいただいたところで、私も意見を言わせていただきたい。

景観審議会の前任の会長が会長時代に、鶴岡の中心市街地を活性化するに当たって、キラキラと明るいところばかり作っても人は集まってこない、少しダークなところを作った方がいいということをおっしゃっていた。当時はよく分からなかったが、今はそういう考え方もあると思う。例えば昔あった映画館のように、闇まで行かないぐらいでそういう場所を作っていくと人が集まってきて、周辺からも人が来るようになる。それが育っていく状況はまずいが、そうでなければ、少しダークだと思われるものも必要なのではないか。駅前商店街周辺はふさわしくないが、例えばDada やましま家具跡地などはそういう要素を持っていると思う。

今日の会議は、高さ制限に引っ掛かる建物が出てきてどうするこうするという二者択一の討議をするような、景観審議会で本来議論せざるを得ない内容ではない。できるだけ皆さんから

発展的な意見を出していただくために集まっていたので、大変意見を言いやすい場所・いいチャンスだと思っている。そういう意味でも、意見のある方は再度お願いしたい。

#### 委員

先ほど言った内容と重複する。駅前はまだの顔だという意見も出ているし、駅前ではいろんな計画が動いている、委員がおっしゃったレーベンは、担当者も相談した方がいろいろ展開できたのかもしれないという感想をお持ちになっていることを伺った。そうしたことを考えると、これから駅前で起こっていく開発を、どうすれば良いのかは私も分からないが、何らかの形でうまく調整するといったやり方はないものかなと思った。アパホテルももう一棟着工予定があるということで、たまたま昨日東京の都心で用事がありアパホテルの前をウロウロしていたが、出入りするのほとんど外国人の方ばかりで、そういう風になるのかは分からないが風景も含めて、駅前に米倉庫がなくなった後で、ホテルが何棟か建つのだと思うが、何らかの形で誘導というか、規制ではなく創造的に関わっていく方法はないものかなと思った。みなさんどう思っておられるか。

#### 委員

中心市街地エリアは広いが、やはり本丸は駅前から日吉町、山王通りに入って銀座通り周辺だと思う。夜は賑やかかもしれないが、日中はシャッター通りと言っても過言ではない状況。みんな考え方はいろいろあると思うが、何らかの方法で、この周辺の方々にいろんな話を聞いてみてはどうか。例えば各商店街のエリアごとに、そこ居住している方に、将来どういう風にしたいのかというようなこと。私は何もしたくないという人もいれば、もう少し賑わえばこんなこともしてみたいとか、もしくは実はここは売り払ってどこか別のところに行きたいという方もいるかもしれない。いろんな案を持っていても、いやいやそんなことはできないと頭から言う方もいれば、いや、私はいいと思うという方もいるかもしれない。あとは、世代も様々なので、高齢で私の代で終わりにするという方もいるかもしれないが、実はここに子どもたちが住みたいといったこともあるかもしれないし、その人達はどうしたいのかを丁寧に聞いて、聞いたからすぐ案が出るかというところではないと思うが、まずは意見を聞いて、それを元にいろんなことを考えてみるというのも1つの手ではないか。

私は造園建設業の役職でこの場に来ている。都市緑化の観点からいくと、地方は都市緑化が少ない。緑が多いとは言いが、いわゆる改良地が少ない。関東、大阪も東京も都市部に行くと都市緑化が非常に多いが、地方に行くと少ない。これにはいろんな理由があるが、例えば、街路樹を植えるとクレームがついたり、厄介だと地区住民の方々から言われるため、行政の方々はリスクなことを避ける傾向にあり、地方の都市緑化は少ない。ところが都市部はそうではなく、逆にこの都市に街路樹を植えたいというような方が多い。その辺の事情を説明するにも、頭ごなしにこうするのではなく話を聞きながら、こうやって進めたいというようなことを、役所の方でも案を持って行って丁寧に説明して、そうしたところを工夫すれば良いのではないか。いわゆる方法。漠然としているが、丁寧に説明したりすることで、いろんな話が進んでいくのではないかと思う。

#### 委員

先ほどの意見にレスポンスが欲しい。コミュニティアーキテクトというのは全体を見て、15mとか35m超える時の相談相手だと思うが、このエリアで何か行う際はこの人に相談してくださいとか、そういうやり方をしている自治体もある。仮に駅前が大事だとすれば、そこで何かする時はみんなうまく協力しながらやるとか、そういう仕組みのようなものは、今から考え

ておいた方が後々禍根を残さないのではないかと思います。事業する方もその方が自由にやることのできるのではないかという気がする。

#### 事務局

米倉庫跡地の活用については、早い段階から地権者様からはお声がけいただいております、コミュニケーションは取っているが、具体的なことまでは伺っていない状況。敷地の南側は歩道を拡幅したいということで、用地取得については地権者様と交渉を重ねている。委員からご意見のあった仕組みづくりというのは、有効に作用する可能性があるものとも思うが、民間開発の中にどこまで行政が入っていくか、引き続き他市の事例を含めて研究していきたい。

委員からご意見のあったキャッチフレーズの件。これはビジョン策定の際、委員会の場でかなりの時間を使って話し合ったもの。URから来ていただいた方がすごくいいことをおっしゃった。最初は「あなた」だが、あなた、あなたと市民に呼びかける中で、やっていく中で、勝手に「わたしの」に、自分なりに言い換えている、それがまさに自分ごとになっていくのではないか、というようなこと。「わたしの」という案は当時もあり、議論した結果、このキャッチに落ち着いている。自分ごとというのがひとつのキーワードで、メソッドについても市民の皆さんから感心を持ってもらえればというのは個人的にも思っているところ。

#### 会長

皆様からいただいたご意見は事務局サイドでしっかり集約し、来年度からの施策推進に当たり参考にさせていただければ幸いです。説明及び意見の集約は以上だが、全体を通して、皆様から何かご意見ありましたらお願いしたい。

#### 委員

資料2の1ページ、一番上の左上にあるパークレットの写真が非常に魅力的。子どもたちも楽しく遊ぶことができ、毎週やっても良いのではないかと。川端通りの相互通行化に向けても進んできており、パークレットを行う条件は整ってきている。これに関わった矢口教授は、早稲田で私の後に入ってきた方。パークレットはサンフランシスコで産声を上げ、世界中で流行している。矢口教授はサンフランシスコで最初に行った5,6人のメンバーのうちの1人で、元祖パークレット。銀座通りで行った際も非常に盛り上がったと聞いている。こうした取り組みによって新しい景観が生まれるのではないかと。こういうのを、先ほどモデルとおっしゃったが、モデルとしても、何とかこれだけはやるぞということで、景観の観点でもやっていただくのではないかと思います。

#### 会長

説明事項は以上とし、進行を事務局にお返す。

### 6. その他

#### 事務局

会長、ありがとうございます。

いろいろ貴重なご意見を頂戴し、今後実際に事業を行っていく際に取り組んで参りたいと思う。特にモデルとして、小さなものでも成功例を出して行って、そこから広げていくということが大事なのかなという風に思っている。

次第の6.その他として、事務局では特段準備していないが、委員のみなさまより何かございませんでしょうか。

(なし)

7. 閉会

事務局

それでは以上をもちまして、令和6年度第1回景観審議会を閉会させていただきます。  
本日はお忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございました。